

# 京都教区時報

今月の小教区 — 大和高田教会  
特集 '77 夏休みの若者たち

第51号

発行所  
京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室 (Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可



100周年をむかえる津教会

## かみしめる百年の重み 津教会創立百周年

洗礼第一号「伯多禄(ペテロ)」天花寺延春  
心教会の歴史も今年数えて一世紀、三百四十  
年前、徳川幕府のキリスト教禁制の圧迫によ  
り、津藩でも信仰を守った多くの信者一族が  
極刑に処され尊い血を主に捧げた。こうした  
信仰の礎の上に、一八七三年パリ外国宣教会  
のビリヨン師により神のみことばが伝えられ  
始めた。鈴鹿の山々に通じる遠路をいとわず  
京から「よきおとづれ」をたづさえ通った師  
は聖靈に導かれ、迎えた人たちの心も主の靈  
に助けられ、「聖心教会」は育くまれていった  
教会の本格的建設は明治十六年に漸く始まり  
深堀達右衛門神父が初代司祭として着任、以

こうした先達の尊く偉大な信仰の遺産を受  
け継いだ聖心教会では、信者をあげてこの創  
立百年の意義の認識を深め、又記念として諸  
行事等を開催。そのハイライトともいべき  
「創立百周年記念祭」を九月二十三日(秋分  
の日)午前十時から当教会に於いてはれやか  
に行つた。

記念式典はかつて当教会に貢献した司祭、  
修道者、信者の参列を得て古屋義之司教、二  
十名の京都教区司祭の共同司式による記念ミ  
サに特別な祈願を捧げ莊厳な中にも参列者は  
温れるばかりの喜びを感じた。

## 教区短信

▽九月十七日(土)・十八日(日)

召命を考える黙想会

於・カルメル会黙想の家(宇治)

△九月二十六日(土)・三十一日(日)

邦人教区司祭黙想会

於・メリノールハウス(唐崎)

△十月六日(木)

ノートルダム女子学院創立二十五周年

△十月二十三日(日)

教区修女連の集い

△十月二十五日(火)

於・河原町カトリック会館

△十月二十九日(日)

教区内男女管区長会議

△十一月十三日(日)

於・ウイチタ聖ヨゼフ修道院(竜安寺)

△十一月二十日(日)

堅信式 於・大和郡山教会

△十一月七日(日)

大和高田教会創立二十五周年

△十一月十四日(日)

司祭評議会定例総会

於・河原町カトリック会館六階

△十一月十二日(土)

カトリック学校関西ブロック会

於・河原町カトリック会館

△十一月十二日(土)・十三日(日)

青年リーダー研修会

於・横浜カトリックセントラ

△十一月十三日(日)

堅信式 於・衣笠教会

△十一月十五日(火)・十七日(木)

司教協議会臨時総会 於・中央協議会

シスター・メリーレベッカ 我部悦子  
(東京吉祥寺教会出身)

シスター・メリーレスマリー 早川昌江  
(三重県四日市教会出身)

シスター・メリーレイーズ 安川昌子  
(京都河原町教会出身)

高松司教に

深堀神父

御病氣のため辞任された高松教区長田中英吉司教の後任として、この程教皇バ

ウロ六世は、八月一日付で新教区長に、深堀敏被選司教を任命した。高松教区は京都教区長田中健一司教の出身教区であり、京都司教区にとつてはいわば姉妹教区とも言える。

新司教の祝聖式は九月二十三日（秋分の日）午後一時より高松の司教座聖堂で行なわれるが、この喜びの日に当り田中京都教区長は編集部に次のようになお祝いの言葉を寄せられた。

教会は、すべての人の救いのため全力を尽くすという使命を持っている。このたび正義と平和委員会では在日韓国人の政治犯のために助命・減刑の署名運動を日本全カトリック教会に呼びかけている。京都教区でも担当司祭の越知師が署名を少しでも多く得ようとアピールしており各教会でも活発に運動が展開している。

この主旨は在日韓国人六名がスペインのかどで明白な証拠がないのに韓国の法廷で

全体のためにこの聖書週間に協力したいと思思います。この期間「聖書を知ることはキリストを知ることである」といううた一のものに、聖書から神のみことはば聞き、神の御旨をより深く知り一つずつでもこれを実践に移して行くものとした

聖書週間にあたつてどんな事をするか  
いと思ひます。

については、後程司祭、信徒の皆様の御意見を伺いながら教理センターの御協力を得て計画していくたいと思っておりますのでその節は御協力をお願いします。

聖書週間にについて

聖書週間」は第一バチカン公会議が、その啓示に関する教義憲章の中で示

た精神を具現するため、宣教、司牧、司教委員会から提唱され、日本司教団にて設けられた週間です。

具体的には今年十一月十三日(土)より、十一月十九日(土)までを日本全国の聖書巡回展と定められました。教区内の或小教會では、すでに聖書に対する意識は高められ、聖書を中心としての色々の集いがなされており、今更という感がしないで

を後に未知の高松教区に来られるので同じ心情だとと思う。喜びの福音、信仰の道に召された者として、ともに日本司教団の一員、同志として、信仰の恵みを願いながら歩み続けたい」

死刑が宣告され、その後近親者によれば六名の各自がアリバイを持つてゐるといふことで彼らの助命を署名運動によつてすでに日本司教団の十名の司教が署名をされている。

人事移動

- |   |
|---|
| 死刑が宣告され、その後近親者によれば六名の各自がアリバイを持っているといふことで彼らの助命を署名運動によつて朴大統領に嘆願しようとするものである。すでに日本司教団の十名の司教が署名をされている。   |
| 私達は彼らに死刑だけはまぬがれてもらうよう、不正に死刑の判決を受けた兄弟のために祈り、心をこめて署名し彼らに「私達も署名運動をして助命を嘆願しています。神様にすべてをまかせて勇気をもつて一日一日を過して下さい。」といふ声を伝えたい。  |
| 人事移動  |
| △桑名主任代理 E・ライヤン師(米国)<br>△伊勢助任 T・高橋師 (米国)<br>△網野主任代理 D・ヴィツテンダル師 (米国)<br>△宮津主任代理 R・ホーン師 (網野)   |
| 司教の足どり<br>(7・15—9・10)   |
| 7月<br>16 ①衣笠カルメル会ミサ (カルメル山の聖母)<br>18 教区付司祭代表者会<br>21 司祭評常任委員会。齊木師退院<br>24 ①伊賀上野教会ミサ。高山右近受洗<br>の地(大和榛原)見学。名張教会<br>ミサ。  |
| 9月<br>1—2 観光司牧(市内外)。安曇川教会訪問<br>3 聖母学院中高代表来訪<br>4 ①堅信ミサ(園部・亀岡合同)<br>5 司祭評定例会議<br>6 YBU追悼ミサ   |
| 8月<br>9 召命促進委員会<br>11 大日山墓地、韓国人墓地墓参<br>正義と平和委員会<br>3 教会学校教師研修会(洛星)<br>1 教会本部見学  |
| 15 ⑪桂教会ミサ・メリノール会管区長<br>代表者会(三条)<br>衣笠教会ミサ、益おどり<br>京都国際宗教同志会(三条)<br>18 日本カテキシタ会研修会(大津)<br>21 ⑪カルメル・衣笠ミサ・衣笠墓<br>同委員会<br>22 駐日バチカン大使館訪問<br>日光青年宗教者会議(日光東照宮<br>研修会館)                                    |
| 16 四名の誓願者銀祝ミサ(ND教育)<br>衣笠教会ミサ、益おどり<br>京都国際宗教同志会(三条)<br>17 京都国際宗教同志会(三条)<br>18 日本カテキシタ会研修会(大津)<br>21 ⑪カルメル・衣笠ミサ・衣笠墓<br>同委員会<br>22 駐日バチカン大使館訪問<br>日光青年宗教者会議(日光東照宮<br>研修会館)                            |
| 19 三名の終生誓願ミサ(ND教育)<br>メルシエ師葬儀ミサ(ミッショント<br>会、元奈良主任)参列(神戸)<br>精華会議<br>24 ザーン師 聖母の騎士シスター來訪<br>25 隣青連研修会(北白川)<br>26 教区付司祭月例会(三条)<br>27 隣青連研修会(北白川)<br>29 オブレート会管区長來訪<br>30 聖ライムンド。千客万来、<br>駐日バチカン大使秘書来洛 |

## 燃えあがる神の愛と暑さの内に 第二回教会学校教師養成研修会

夏の暑さもピークとなつた八月三日から五日まで、洛星高校において第二回教会学校教師養成研修会が行われた。参加者は三十余名、高校生も数名加わり、子供達に神の愛を伝える者として活気に満ちていた。

研修会は田中健一司教のミサで始まり、昼食後「要理教育について」と題して講演があった。その中で司教は「恐れ」のカタケジスではなく神から愛された者として「喜び」を伝えるカタケジスを強調された。続いて松本三朗師が「私たちとミサ」で「祭」であるミサがどんなに生きとしたものか話された。夕食後シスター鈴木を中心にしてレクリエーションに楽しいひとときを過し、各グループ別による夕の折りで一日を終えた。

二日目は、まず松本師が子供のための新しい典礼書を使って「子供達とミサ」



会の教会学校の説明があった。又聖母女学院の中谷、川辺兩先生による歌唱指導は子供達の喜びそうな歌が盛り沢山で参加者をよろこばせた。

(写真は研修会の

もう一つ)

について話された。その後シスター景山の「教いの歴史」に関する講演では旧約の歴史を通して神の偉大さとその愛の深さについて話された。夕食後は、フィリップンの貧しい子供達のスライドを見、他の国のアジアの子供達にも思いをはせた。

夜は、討議、話し合いか行われ日頃の疑問、悩み等も出し合った。

最終日は西院教

会の課題で教会刷新のために働くカテキスタの役割は大きなものがあり、具体的な問題を取り上げながら現状と今後のあり方を話し合った。

研修会はテーマにもとづいて、第一日は宣教司牧センター所長佐々木博師が「生きる教会」と題し講演、その後共同作業、グループ作業でテーマを追求した。

二日目は田中健一、京都司教による講演、「カテキスタの役割」と題しカテキスターの基本的靈性の面から話をすすめた。午後はグループ作業で「基礎共同体づくりに対するカテキスタの役割」に取り組んだ。

## 生きる教会とカテキスタの課題 第九回 NCK研修会

八月二十六日(土)夕方から二十八日(日)夕方にかけて、北白川教会において隣接教会青年連合のトレーニングキャンプが行なわれた。共同体鍊成会の方法がとられ、リーダーは松本秀友神父、ノートルダム教育修道女会のシスター野元、伏見教会の森頌藏氏の三名のチームでなされた。参加者は伏見、西院、河原町、西陣、北白川、小山から約二十名の青年が集まつた。

八月二十六日(土)夕方から二十八日(日)夕方にかけて、北白川教会において隣接教会青年連合のトレーニングキャンプが行なわれた。共同体鍊成会の方法がとられ、リーダーは松本秀友神父、ノートルダム教育修道女会のシスター野元、伏見教会の森頌藏氏の三名のチームでなされた。参加者は伏見、西院、河原町、西陣、北白川、小山から約二十名の青年が集まつた。

### フレーリック師を迎えての講演会 ガーロック師から

一回目 十月一日(日)午後一時半より

テーマ 「今日のフレーリック教会」

場所 カトリック会館六階ホール

聴講無料

二回目 十一月七日(日)毎日十時より三時迄

八日(火)九日(水)

三時よりミサ

チケット料金 三千円(一日参加一千円)

会員料金 二千円(二日参加一千円)

(両方とも日本語の通訳があります)

**K**  
綜合建築・土木  
コンクリート工事全般  
**河村建設株式会社**

京都市中京区河原町通夷川上る指物町320の2  
電話(京都075)231-1137~9

タイプ・活版  
オフセット } 各種印刷

**今道印刷**

〒602 京都市上京区天神筋一条下  
ル下堅町152  
電話(075)463-6024番

地域環境に調和した  
ユニークな都市創りをめざして

**金山工務店**

本社 大阪市東区内淡路町1丁目2番地  
電話 942-5461番(代)  
滋賀支店 滋賀県大津市皇子ヶ丘1丁目2-3  
電話 24-1816番(代)

## 京都教区中学生鍊成会報告

七月二十七日(木)~二十九日(金)の二泊三日、唐崎のメリノールハウスにおいて京都教区中学生の鍊成会が行なわれた。会のテーマは「信頼」で、リーダー一人一人の体験からの講話、スエーデン方式による聖書研究、映画、話し合い等を通して、キリスト者の生き方として、神への信頼と人への信頼について考えた。二日目は松ノ浦水泳場で一日中泳ぎ、夜は湖畔でキャンプファイヤーを囲んでの楽しい一時を過ごした。中学生相互の、またリーダーと中学生相互の信頼関係を体験することのできた有意義な三日間であった。(報告者、松本秀友)

### 教区高校生会

七月二十九日から三十一日にかけて洛星高校宗教研究室において高校生会の夏期合宿が行なわれた。夏は各県でそれぞれ合宿が行なわれる所以参加者のほとんどは京都南部の高校生であつた。

自己を見つめるというテーマにそつて日頃忙しくてゆきり見ることのできない自分達の姿を見ることができた。二日目には東門師から自己を見つめることの意義についての話を聞き自己を見つめることの大切さなどについてグループに分かれて話をすすめた。全体としては、小人数であつたのでかなり個人的につつこんだ話もできたが、いつも同じ顔ぶれの人が多く新鮮味に乏しかつたようである。日頃文集作りをしてきたが成果を合宿で生かせなかつたのも残念であった。

(報告者、松本秀友)

(小山・宮川信子)

## 小山教会土曜学校

## 滋賀

### 賀

八月十二日から三日間、唐崎メリノールハウスで、滋賀県の小学五年から高校までの鍊成会が行われました。プログラムは、講義とディスカッションからなされた第三回小山教会土曜学校二泊四日の合宿は、小学生、幼稚園児、リーダーの四十五名と、医務交通食事会計担当の父兄グループ二名、キャンプ長越知、相談役の藤堂両神父を加えた大所帯。

裾野の壮大な牧草地のある不二聖心女子学院の山の家で練り広げられたプログラムは、学年縦割りの各グループに文字通り寝食を共にさせ、大家族のよさをたっぷり味わせた。一日目は説明会、諸注意ゲーム花火等が行なわれますまずのにり出し、二日目は早朝から富士五合目までマイクロバス、そしてそこから子供達の実力に応じて七合目迄登ったが天候悪く七合目止り。三日目は何時ものように起床、祈り。朝食後「ミサの祈りづくり」午後は四チーム対抗ソフトボーラーの熱戦、砂、汗ほこりにまみれた子供達は興奮を残しながらお風呂で疲れを流した後「小さいイエズスの姉妹会」の鏡のように拭きこまれた聖堂の板の間に膝小僧を映しならべてミサに与る子供の姿はこのキャンプのクライマックスと思えた。



### はじめて鍊成会に参加して――

(草津・浜野恵)

予想していたよりも、学習時間が多く、でもその内容というものは、とても充実しているものだったと思う。ひとり、ひとりで考えて、とてもわからぬことも、人の考え方を聞きながらそれについて考えると、なんと最初は考えてもいなかつた意見が、自分自身にできてくる。こんなデイスカッションの場は、どんな場合も必要だと思った。

神父様の話を目をつぶって聞いた時、正座しながら聖書を読んだ時など、いつもひと味ちがつた感じが味わえたり、心がおちついて、すっとひきつかれていくような、そんななんともいえない気持ちを知つた。

今、みんな同じことを考えているんだなと思うと、「二、三人のあつまつた場所に必ず神がいる」という言葉を、何の

まつて、ひとつのことを考えるというのはすばらしいことだと思うし、それを通じて何人の友だちができたということが、何よりもうれしかつた。

この鍊成会によつて「いつも主と共に」いう言葉にも、みんなほんの少しづつ近づいていくような気がする。自分ひとりが近づくのではなく、みんながひとつになつて近づいていくつていうんだ、と感じられたことがうれしい。

これから、いちばん楽しかつたのは、プログラザーゼノさんのお話です。このゼノさんは、ほんとに天の父のような人だと思いました。(唐崎・辻村和子)

奈

良

## シャローム会の合宿に

### 参加して!!

夏休みと同時に奈良県の子供達もそれぞの教区單位で野外活動センター、青年の家、海の家等を利用して、キヤンブ、夏期学校、鍊成会が行われた。毎週わずかな時間しか持てない土、日曜学校では体験学習がどうしても不足になる。

夏期学校では友達を通じ、自然を通して、生活全体を通して子供達は驚くほど沢山のことを把握する。夏期学校が終つてから子供達同志の結びつきも強く、しばらく教会に来なかつた子が又教会に来るようになることも多くあり、どんなに無理をしても毎年しなければ早くも来年の計画を立てる教会学校の先生もおられるようである。

又県単位でも中学生グループの「シャローム会」が和歌山県の海辺で二十五名の参加者のもとに二泊三日を過した。良く整つた施設で心ゆくまで遊び学ぶことができた。又高校生のグループ「星の会」では今年は四国までフェリーで旅行した。パンガローを借りてのキャンプ生活で食事は交替で担当、日ごろのお母様の御苦労を感じさせられたよである。

又他の教会との交流があまりないことからこの機会にと話のはずむことも多くあるグループは夜から朝の五時まで語り明かしたというからそれだけでも彼らに取つては忘れられないキャンプではなかつたであろうか。

(担当司祭ルーニィ、カーティン師)

(文責シスター小川)

(大和八木・中一・三浦研治)

三

重

八月六日、七日の二日間セントヨゼフ学園で県下の子供大会が開かれました。

参加者は子供だけでも百名を越し、お手伝い下さった大人を含め百四十名という大きな大会になりました。

今年のテーマは「ごらんよ空の鳥を」でした。子供達は総まとめて棒球

で車はないと安心して行つたらニュー

スとは正反対で、乗つて行くのに他の車が多く予定よりだいぶ遅れ七時間余りもして目的地に到着した。

あちらは空氣もよく、気温も奈良県より低く、

水泳、ソフトボール、フ

ィスビー（輪のあそび）

食事、睡眠、聖書の勉強等をするには最適だつた。

樂しかつたのはグル

ープ活動で、グループで、

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

キャンプファイヤーの準備をしたりゲームを考えたり、聖書の勉強したところを発表したりした。それぞれのグループがアイディアを出しあって

しなければいけないと思つた。これからは、みんなと仲良くしなければいけないと思いました。男の子が三人しかいないし、女の子十七人もいるし、先生も女の先生が多かった。もっと男の人の出席をふやしてほしいです。

(小四 豊浜勇治)

### 子供大会の思いで

子供大会へ行きとてもおもしろいこと

がいっぱいあつた。まず新しい友達が二人できた。名前は、よくわからなかつた

が、あだながわかつた。一人は若さん、もう一人は男、というのだった。次に自

由時間の時、先生と友達とでふうせんで遊んだ。やめるころ、のどがいたくなるほど遊んだ。それから夜ねる時、ブーバーといいうあだなのが、たんこぶしをおどり、五年の子が「ねる前の美よう体

う、ラジオ体そうをしましよう」といつて、みんなをわらわせた。それもまじめにやらなくてはたたかれるが、わたしは

せんでした。だいたいこれから十種類ぐらいあつてほしいです。会費はいくらで

もはりますから。それから自由時間がかたまりすぎていきました。

これから自分達の反省をかきます。考

えていたことの大半が食事のことなどの

で、もつと勉強に集中しないといけない

と思いました。こんだてや量を心配して

いました。特に量を心配していました。

毎日こんな生かつだつたらなあ。

鳥」という歌を私はすきになつた。

(小四 小野麻由子)



## 特集'77夏休みの

### サマースクールの反省

山花などをたのしみました。

(豊浜勝子)

### 反省と感想

花火が一種類しかありませんでした。

せんでした。だいたいこれから十種類ぐ

らいあつてほしいです。会費はいくらで

もはりますから。それから自由時間が

かたまりすぎていきました。

これから自分達の反省をかきます。考

えていたことの大半が食事のことの

で、もつと勉強に集中しないといけない

と思いました。こんだてや量を心配して

いました。特に量を心配していました。

毎日こんな生かつだつたらなあ。

鳥」という歌を私はすきになつた。

(小四 小野麻由子)

京都教区の家族のみなさんにご挨拶します。この困難な時代に私達は信者として互いに助け合うことは非常に大切なことです。

家庭訪問の時に個人に会うことができます。又、地区会の時にも小さいグループで会いますが、日曜日の御ミサの時に神の家族としてみんな集まります。そして皆一緒に唯一の父なる天主様を礼拝して、ここに親子の関係を強めます。

これは御ミサの第一の目的であります。何という素晴らしいことでしょう。高田教会では、このことが良く行われています。私達の御ミサを印象深かったといわれるのを聞きましたが、神の家族は御ミサの間だけのものではありません。

### 私達は 皆神の家族



私達は御ミサの後も兄弟であることを自覚しなければなりません。これは日曜日の集まりの第二の目的です。御ミサが終つてすぐ帰つてしまふのは御ミサの意味が深く理解されないのではないでしようか。御ミサは神の家族が一つに結ばれるためのものです。この結びを強めるために御ミサの後知つておる兄弟姉妹と話したり、知らない兄弟姉妹に話しかけましょう。神の兄弟姉妹は、教会の中でも外でも何時でも実現するように努力するようになります。

ウイックス神父

—マリスト会管区長  
—大和高田教会主任



聖堂の塔はテントを現わすシンボルです。

### 小教区の貢

#### 大和高田教会

大和高田カトリック教会は昭和二十七年に創立されました。マリスト会の神父たちが古いデパートを安く買って、色々の所を修理し、始めてカトリックの教会が奈良県の南部に布教を始めました。ベトナムの南に布教を始めました。ベトナムはよく漏り、大風の時にはよく響きました。でも、十四年間の間、高田の信者さんはその教会で強い信仰の元を作る事が出来ました。高田教会を創立した時は、

現在、高田教会のチームは、司祭一人と幼稚園と日曜学校の為にシャルトル聖パウロ修道女会のシスターが三人と事務の為のカテキスターが一人と活潑的な教会司牧協議会です。その司牧協議会には、会長、副会長一名、会計、書記プラス各地区会長八名、社年会、婦人会、青年会、レジオナリエ会々長がおかれています。布教は幼稚園、ガールスカウト、レジオナリエ会を通して行なっています。

今年は大和高田教会の二十五周年です。この二十五年の間に、三百七十名が洗礼を受け、現在の信者の数は三百名です。二十五周年のお祝いのハイポイントは田中司教様の十一月の訪問にあります。

神父様だけが信者でしたが、しばらくたつて、最初の求道者が勉強を始め、昭和二十八年の復活祭に八人が洗礼を受けました。信者の数は段々増えて、とても家庭的で熱心なグループとなりました。又、長崎から若者も高田教会に入つて来て、イエズス様の大和高田の群れに若い

息吹を与えました。昭和三十八年の事、近くにあつた、たんぽを買う事が出来ました。被昇天の祝日の晩に信者さんが皆集まつて、その土地を祝別しました。それから、幼稚園と修道院を建てました。古い教会は平日の御ミサの為と司祭館として残しました。日曜日には幼稚園の方で御ミサを捧げました。昭和四十一年に幼稚園のすぐ隣のたんぽを買う機会を得、それを買う為に、懐しい古い教会を売ることになりました。同じ年に今の素晴らしい教会と司祭館を建てました。

このブロンズ像は小坂圭二氏によつて作られた大和高田教会の保護者である旅路するマリアと幼きイエズスを表わしたもの。この像が作られるにあつたて古い教会は平日の御ミサの為と司祭館として残しました。日曜日には幼稚園の方で御ミサを捧げました。昭和四十一年に幼稚園のすぐ隣のたんぽを買う機会を得、それを買う為に、懐しい古い教会を売ることになりました。同じ年に今の素晴らしい教会と司祭館を建てました。

このブロンズ像は小坂圭二氏によつて作られた大和高田教会の保護者である旅路するマリアと幼きイエズスを表わしたもの。この像が作られるにあつたて良いものがほしいと望んでいましたが自分達の望む像を作るには十万円というお金が必要としていました。そんな時から高田教会の信者達は教会のシンボルとして良いものがほしいと望んでいました。その後の付近に主の光をより深く、明るく照らし続ける事が出来ます様に……。

### 教会のシンボル

#### 旅路の母の像によせて



この二十五年の間に、三百七十名が洗礼を受け、現在の信者の数は三百名です。二十五周年のお祝いのハイポイントは田中司教様の十一月の訪問にあります。

## 読者の貢ダマスコ途上 河原町教会練成会に参加して

阿南孝也

今回初めて練成会に参加させて頂き、有意義なそしてとても楽しい時を過すことができましたことをうれしく思います。さて私は高校生担当という事だったのですが、高校生は皆リーダーの役割を果たしてくれて、こちらが面倒を見る必要もなくその点は非常に楽でした。

高校生の人達はこれからも子供達のリーダーとしていろいろ活動してくれる事だと思いますが、今度の練成会でもそうであつたように、リーダーとしての仕事をするということはその分自分の時間が減ることになります。私は普通、高校生のリーダーをしていて、もし次の日曜日に高校生の集まりがなければ友達と遊びに

人は、よくわからぬ所がいくつもあります。私は聖書の箇所で説明はできても、よくわからない所がいくつもあります。私は高校生の皆にいつもいろいろな問題をリーダーと一緒に考え皆の意見を聞きたいと思っています。ですから私にとって高校生のリーダーをするのは決して奉仕などではなく大学生同志の集まり同様、考え方を教える立場にいるとは考えていません。主役はもちろん高校生ですが、リーダーも一緒に考え皆の意見を聞きたいと思っています。高校生の皆にいつもいろいろな問題を

自分達の問題として考えていく姿勢を持つよう、又リーダーとして活動する時にも同じように子供達と一緒に自分達の問題として考えて行くように、そなつ

てくれる事を希望しています。

(この文は河原町教会典礼部の今年度夏期練成会「ぶんしゅう」より抜粋)

## お知らせ

講師 沢田和夫師(東京教区司祭)  
場所 カトリック会館六階ホール

聴講無料

◎心のともしび聖地巡礼の旅  
ハヤット師団長の巡礼にご参加下さい!

●第六回復活祭の旅  
三月二十日(日)~四月五日(木)  
日時 十月二十二日(土)午後六時半  
場所 河原町カトリック教会

◎マリークレール・アラン  
オルガン演奏会

フランスの近代オルガン曲を演奏  
申込先 604京都市中京区河原町三条上ル  
心のともしび運動本部 電075-934-1

●第七回夏の聖地訪問  
入場料 前売220円 当日300円

日時 十月十六日(日)午後一時半~五時  
場所 教理センター、アネックス  
内容 スライドの使い方と作り方  
会費 五百円  
(場所の関係で十五名まで受け付け、毎月第二日曜にこの種の会が行われます。)

◎聖書講演会

日時 十一月二十三日(木)

午後一時半~三時半「語りかけ」

午後六時半~八時半「折り」

行けるのにと思う事が時々あります。  
人によつては子供達の面倒を見るのが  
楽しいという人もいると思います。又、  
子供の時に面倒を見てもらつたのだから  
今度は自分達が面倒を見ようと考へる人  
もいるでしょう。これも十分立派な理由  
だと思いますが、更にリーダーをしてい  
ることで、そこちらに返つてくる事があるように  
思います。つまり教えるだけでなく、教  
えられることがあるという事です。

答えとはこの説明の様なもので、どうか  
ら答えが与えられてもわからない所もあ  
るでしょう。一応納得はいつても、では  
具体的に自分の生活にあてはめてみてど  
うなのか、どうしたらよいのか考へてい  
くとわからない事もでてくるのではないか  
でしょうか。そうなつてると、ぜひみ  
んなの体験や意見が聞きたくなります。  
この様な話し合いでできたならば、私も  
えられることがあるという事です。

として一緒に考えていくことができるよ  
うになると思います。

高校生の皆にいつもいろいろな問題を  
自分達の問題として考えていく姿勢を持  
つよう、又リーダーとして活動する時  
にも同じように子供達と一緒に自分達の  
問題として考えて行くように、そなつ

てくれる事を希望しています。

この文は河原町教会典礼部の今年度夏期練成会「ぶんしゅう」より抜粋)

七月二十八日から三十一年まで三泊四  
日の津和野、萩への巡礼の旅に出発。殉  
教者とその町を訪れる。二十二才から七  
十才までの、八木教会の若者(自称?)  
十名がその総メンバーである。

**殉教の町津和野、萩**  
堀井千代子

巡回句集より



乙女峠にて  
殉教の丘を照らせり夏の月  
岩清水汲みて仰げり殉教碑  
大き蛾のとまれる祭壇朝のミサ  
殉教者の墓に詣でる

津和野路  
街望む津和野城跡や風涼し  
鷗外の墓は小さし蟬しぐれ  
朝涼したむろす蝶の動きそむ  
露草の色ざえて來し殉教碑

萩路  
風穴に萩の一刻涼みけり  
旅をおえて  
汗ぬぐう大聖堂へ旅果つる

大津教会  
10・30  
10・23  
10・23  
10・30  
11・13  
10・13  
10・30  
11・6  
伊勢教会  
彦根教会  
網野教会  
松坂教会  
草津教会  
大和高田教会  
(大和八木教会)

葵 生え (三)

—京都教区五十年をふり返って

右座義之

昭和二十年八月十五日、この日私は、河原町教会で聖母被昇天の大祝日のミサをささやかに信者の人達と捧げてました。ミサの後、皆でお茶を飲んでいるとラジオで重大な放送があると知らされました。それは天皇陛下によつて発表された日本敗戦の玉音放送でした。私は敗戦という言葉に打ちのめされそうな打撃を受けると共に、これからは何の束縛もなくキリスト教の信仰を守り、キリストを宣べ伝えることができるという何ともいえぬ自由と解放感に浸つたことも事実です。

終戦と共に米軍が進駐してくることになり、日本国中その事に対して非常な恐れを持ち、特に満州事変の経験からいろいろなうわさがうわさを呼んで広がつていきました。そして町にそのまま残れば米軍の兵隊から何をされるかわからないと思いつめた京都の人々は、山村に逃れようとヤカーヤ乳母車にまで家財道具を満載して京都を後にしました。この様な人々が毎日街頭いっぱいに避難民のように行きかうのでした。又若い婦人達はいざという場合に備えて青酸カリを肌身はなさず持つようにしていました。この様な混乱を目があたりにして、東京



昭和20年8月20日付朝日新聞

朝日新聞の一記者が動搖している国民を何とかして落ち着かせたいと思い、東京教区長の土井大司教に相談しました。土井大司教は京都にたつた一人の外人宣教師として軟禁されているバーン師ならきっと何かしてくれるだろうと考え、私にバーン師をその記者に紹介するようたのみました。私もバーン師こそアメリカ人の中でも日本人を最も良く理解してくれました。そして米軍の京都、大阪への進駐は何も武装しないで入り平和的に行われていきました。バーン師はその後高野教会に移られましたが、その後ローマヨリ命じられ朝鮮の教皇使節として行かれ、韓国でその聖なる生涯を閉じられました。バーン師は私にとっては勿論、日本国民にとっても忘ることのできない大恩人なのです。

戦時中の食料不足も終戦と共に少しずつ緩和され、米軍が救援物資を飛行機から落としてくれたりしました。またドミニコ会のブリオット神父様からいただいた外国製のたばこの味は今も忘れられません。ラール、フィリップ、モーリスといふたばこの名前を今もはつきり覚えています。心ゆくまでたばこの味をわいながら、これからはカトリック教会が一致して日本の再建のために働くねばならないとの使命感に燃え立たされたのでした。

(つづく)

訂正とお詫び

編集部七人眼鏡もいれて二十の目で見直しているのですが誤字誤植が前号にありましたので気付きました限り訂正しろと申しあげます。

一頁 施設長Rサーン師—ザーン師  
四頁 九教教会—九条教会  
五頁 広報 村上(興)師—村上(國)師  
信徒使徒職 松本(透)師—村上(興)師  
青少年司牧 松本(透)師—松本(秀)師

いて、あなた方日本人に恐れる必要のない事を保障します。」との内容の名演説をしました。又米軍の兵士にむかつても同様「アメリカの名誉を汚すような行為を日本本土で絶対しないように。立派な軍隊として上陸するように」とラジオ放送をしました。このバーン師の勇気ある行動は朝日新聞のトップ記事として掲載され、不安と失望のどん底にあつた日本国民に明かるい希望を与えることとなりました。そして米軍の京都、大阪への進駐は何も武装しないで入り平和的に行われていきました。バーン師はその後高野教会に移られましたが、その後ローマヨリ命じられ朝鮮の教皇使節として行かれ、韓国でその聖なる生涯を閉じられました。バーン師は私にとっては勿論、日本国民にとっても忘ることのできない大恩人なのです。

一日編集日を間違え、編集員不在でヨトン。明日来れぬと宣言、それでもちよと顔を出す。今晚の聖書研究うまく行くかな。

◆一 日編集日を間違え、編集員不在でヨトン。明日来れぬと宣言、それでもちよと顔を出す。今晚の聖書研究うまく行くかな。

◆今夏西日本の暑さは格別でしたね。それにひきかえ今朝の涼感と抜けるような空の青さ!何とか寺の萩も美しいとか(Y)

◆枯葉が秋を積み重ねていきます。枯葉色の毛布をかぶつて眼鏡こんでいく夏の梅雨あと秋色の間は第51号に(き)

◆空気が美しい……とタクシードミー弁、東山の一峰一峰が間近かに見える。

◆(ア)君が婚約しました。ファインセの話になると思わず頬がほころぶ。今日も病氣のファインセのもとにいそいそと…(O)



時報が対話をおう書く  
の手段なら  
者も読む者  
は「互いに  
も、投稿者  
も編集者も。  
心を開けあ